

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議(ビデオ/Web/音声)システム市場専門トレンドワッチ

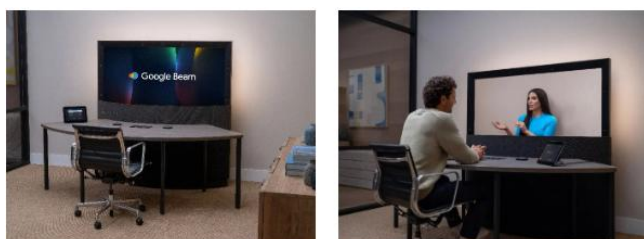
Vol.28 No.16 2026年9月30日

製品サービス動向-国内

■NEC ネットエスアイ：次世代の3D コミュニケーションを実現する「HP Dimension with Google Beam」の取り扱いを開始

(PRTIMES:9月24日)

NEC ネットエスアイ株式会社 (<https://www.nesic.co.jp/index.html>) (東京都港区) は、AIを活用した等身大に近い3D映像によるビデオコミュニケーションソリューション「HP Dimension with Google Beam」の日本国内における取り扱いを10月より開始する。



HP Dimension with Google Beam (NEC ネットエスアイ)

この度、NEC ネットエスアイが取り扱いを開始する HP Dimension with Google Beam は、グーグル合同会社 (東京都渋谷区) と株式会社 HP (東京都港区) が提供する法人向け3D ビデオコミュニケーションソリューション。

Google の AI 技術を活用した3D コミュニケーションは、社内会議だけではなく、重要顧客との商談やコンサルティング、高付加価値サービスの提供など、人と人との信頼関係が競争力となる場面に新たな価値をもたらすという。

Google Beam でのコミュニケーションにおいては、

デバイスの設置に加え、ネットワーク、照明、音響、内装、什器などを含む利用環境全体の設計が重要となる。

NEC ネットエスアイは、働き方改革やコミュニケーション変革を支えてきた空間設計力と、ネットワークおよびコミュニケーション基盤の構築実績、HP Dimension with Google Beam の自社導入・運用で培ったノウハウを融合し、導入前の環境診断からネットワーク・空間設計、機器設置、内装・什器を含むファシリティの統合的な最適化、セットアップまでのワンストップで提供する。

加えて、全国のサービス体制を活用したオンサイト保守サービスを提供し、導入後も安定した運用を支援する HP Dimension with Google Beam の効果が最大限に引き出せる環境づくりを実現する。

なお、日本橋イノベーションベースに、本ソリューションの体験が可能な共創ルームを開設し、お客様の新たなコミュニケーション環境の構想・実証・導入を支援するとしている。

NEC ネットエスアイは、HP Dimension with Google Beam が実現する次世代の3D コミュニケーションを通じて、人と人との距離や拠点の壁を越えた新たな価値創造を支援し、お客様の事業変革と競争力向上に貢献していくとしている。

■ブイキューブ：映像・音声機能の開発を支援する「RTC 開発支援サービス」を開始

(PRTIMES:9月8日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、ビデオ通話や音声通話などの機能を中心とした自社のサービスやアプリを開発したい企業向けに、「RTC 開発支援サービス」の提供を開始する。遠隔接客やオンライン相談など、映像・音声を活用

したサービスが、教育・研修・イベント、医療や不動産など、さまざまな場面に広がっている。

本サービスは、「オンライン接客サービスを作りたい」「既存アプリにビデオ通話を追加したい」「AI バターとのリアルタイムな対話を実現したい」といった企業に対し、技術選定や試作・検証（PoC）から、本番開発、リリース前の品質検証までを、RTC 技術のスペシャリストが一貫して支援する。



3つの支援メニュー（バイキューブ）

	Agora SDKサポート	RTC開発支援サービス
主な対象	自社で開発・実装を行うエンジニア・開発チーム	映像・音声機能を組み込んだプロダクトを企画・本番化したい企業
支援の目的	SDKのスムーズな導入・利用（技術問合わせ対応）	企画から開発・品質検証まで、本番化を一括支援
対応範囲	仕様問合わせ / サンプルコード提供 / 障害調査 / ログ解析など	要件整理 / UI・UX設計 / Web・アプリ開発 / QA / 体験品質テスト（負荷テスト）
技術選定	Agora SDKの仕様・機能に特化	要件に応じて、AgoraやWebRTC等を最適選定
主な成果物	技術回答 / 調査レポート / サンプルコード	プロトタイプ / アプリ開発成果物 / 品質・負荷検証レポート

従来の「Agora SDK サポート」との違い（バイキューブ）

一方、こうしたサービスを本番環境で安定して提供するには、通信品質や映像・音声の遅延、多数のユーザによる同時接続、利用端末の違いなど、一般的なWebサービスとは異なる技術課題への対応が必要という。試作では問題なく動いても、本番環境では映像や音声不安定になるケースがあるなど、コミュニケーション体験をリッチにすることが本番化への障壁となってしまうケースがある。

こうした課題に対し、バイキューブではこれまで、高画質なビデオ・音声通話や大規模ライブ配信機能を簡単に組み込めるリアルタイムコミュニケーションプラットフォームである「Agora SDK」の導入支援を行っ

てきた。今回の RTC 支援サービスでは、SDK の導入・利用支援から支援範囲を広げ、サービスの企画・試作、本番開発、品質検証、サービスの本番化までのプロセス全体を支援する。

従来の「Agora SDK サポート」との違いについては、主に Agora SDK の導入・利用に関する技術支援であるのに対し、RTC 開発支援サービスでは、企業が実現したいサービスを起点に、企画・試作から本番開発、品質検証までを支援する。

これにより、遠隔接客やオンライン相談などの映像・音声機能を取り入れたサービスの、企画からリリースまでの開発負担軽減や、本番化までの期間短縮が期待されるとしている。

■ リコー ジャパン：AI 議事録サービス「toruno」をアップデート

（PRTIMES:9月29日）

リコー ジャパン 株式会社
（<https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>）（東京都港区）は、AI 議事録サービス「toruno（トルノ）」の機能（<https://toruno.biz/>）のアップデートを発表した。

今回のアップデートにより、AI 要約機能と、kintone・OneDrive・Google Drive との連携を強化した。生成 AI によって目的に応じた議事録の作成をサポートするとともに、作成された議事録の蓄積・共有・活用を促進する。

また、リアルタイム文字起こし機能について、リアルタイム翻訳機能を追加するとともに、インターフェイスを改善した。従来よりも迅速にテキストで情報を確認できる仕組みの実装により、多様な参加者が情報へアクセスしやすい環境を実現する。

toruno アップデートの主な特徴として。

（１）AI による議事録作成を強化：利用者は会議の目的に応じてプロンプトを使い分けることにより要約条件や出力形式を設定できるため、決定事項、課題、アクションエモック、進捗状況などを整理した議事録を作成できる。加えて、AI 要約は複数回実行できるため、自社の運用に合わせた議事録を作りこむことがで

きる。

(2) kintone、OneDrive、Google Drive 連携による情報活用：AI 要約で作成した議事録や会議記録を、kintone・OneDrive・Google Drive へ保存・連携できる。これにより会議情報を案件情報や剛無データと合わせて管理し、組織のナレッジとして活用することが可能になる。

(3) リアルタイム翻訳機能を搭載：複数の言語を同時に文字お越しし、リアルタイムに翻訳結果を表示できる。英語、中国語を含む 18 言語に対応しており、グローバルな会議や海外拠点とのコミュニケーションを支援する。会議終了後も翻訳結果を確認できるため、国や地域を超えた情報共有を促進する。

(4) 会議中の情報共有を効率化：会議中のリアルタイム文字起こし画面は URL で共有でき、参加者はブラウザから内容を確認できるようになっている。リアルタイム翻訳を利用すると、原文と翻訳文を並べて閲覧できるだけでなく、自分が理解できる言語のみを表示することも可能になっている。これにより会議参加者での情報共有をよりスムーズに行える。

(5) 情報アクセシビリティ向上に貢献：リアルタイム文字起こしや翻訳機能により、聴覚障害のある方や外国語話者が参加する会議でも、発言内容をテキストで確認しながら会議に参加できる。会議後には AI 要約による議事録を共有できるため、多様な参加者が情報へアクセスしやすい環境づくりを支援する。

リコージャパンは、お客様に寄り添い、業務に合わせて利用できる最適なソリューションを提供し、お客様が取り組むオフィス/現場のデジタルトランスフォーメーション (DX) を支援していくとしている。

セミナー・展示会情報

<国内>

■オフィス移転成功事例と AI ファーストな会議改革 — 船井総研ホールディングス様ご登壇

日時：10月7日（水）11:00～11:50

開催：オンライン（Zoom ウェビナー）

主催：Neatframe 株式会社

特別協力：株式会社船井総研ホールディングス

詳細・申込：

https://neatframe.zoom.us/webinar/register/WN_wxH5ZaT4T9W_6YiDCOFCA#/registration

■HP Future of Work AI Conference 2026

成果に結びつける AI の社会実装～

ローカル AI とハイブリッド AI の最前線

日時：10月7日（水）11:00～19:00

会場：品川プリンスホテル アネックスタワー 5F プリンスホール

主催：株式会社日本 HP

協賛：日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：https://jp.ext.hp.com/business-solution/hp_future_of_work2026/

*HP Dimension with Google Beam のお披露目もあるようです。

■Zoomtopia Japan 2026

日時：10月22日（木）11:00～12:30

会場：オンライン

主催：ZVC Japan 株式会社

<https://zm.me/4yBRBXa>

■ブイキューブセミナー（10月）

「もう音漏れに悩まない！個室ブースの防音体験会!!」「営業会議を変えると、案件は前に進む。」「【すぐに視聴可能】Agora Agent Studio とは」「Zoom の電話って何？」など多数

会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

10月15日号はお休みとさせていただきます。

次号は、10月31日号となります。

CNAレポート・ジャパン 2026年9月30日号おわり

ホームページ: <https://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp